

団体名 南城市立大里こども園	連絡先 TEL : 098-945-2827 Eメール : oozatokodomoen@city.nanjo.okinawa.jp
--------------------------	---

1 実践事項（特色ある取組）

「地域人材等を活用し伝統・文化・芸能を取り入れた保育活動」

2 実践内容

- (1) 地域探検(散歩)や地域行事の体験を通して
 - ・ 保育活動の一環で地域の牛小屋や近隣を散歩しながら季節の変化に気付く機会を設けたり、地域の図書館やショッピング店に出かけたりして、地域を知る機会を設ける。
 - ・ 地域の伝統行事や豊年祭などの情報を発信したり、お盆などの由来を探究したりする機会を設けることで地域の伝統・文化・芸能に興味関心が持てるようにする。
 - ・ 獅子舞や綱引き、エイサーや旗頭、組踊の体験から子ども達とイメージを共有し表現遊びに必要なもの(太鼓・獅子舞・旗頭等)の製作ができるよう環境を整える。
 - ・ 作ったものを用いてリズムに合わせて踊ったりすることで、地域の良さを知る機会に繋げる。
- (2) 地域(南城市内)人材を活用した保育活動
 - ・ 地域人材を活用し、地域の伝統行事(ムーチャー)の由来を伝える機会を設ける。
 - ・ 糸数(アブチガマ)ゆうなの会による、平和についての紙芝居の実施。
 - ・ 新年の集いに地域人材をいかし、獅子舞や琉球舞踊、空手を披露する機会を設ける。
 - ・ 地域の保育ボランティアで園外の環境整備をしながら園児との触れ合いを楽しむ機会を設ける。
- (3) 保育ドキュメンテーションを作成し、保育活動の情報発信の工夫を図る。
 - ・ 園内研修の一環で、保育ドキュメンテーションを活用し保育カンファレンスを行うことで、保育教諭間の保育観の共有や幼児理解を深める機会を設ける。
 - ・ 園児向けの保育ドキュメンテーションを通して、遊びの振り返りや遊びの広がりにつながるようにする。
 - ・ 各担当が伝統・文化・芸能を取り入れた保育の様子を保護者向けに写真やエピソードを添えて発信。保護者も地域の伝統・文化に関心を持つ機会を得る。

3 説明資料（写真、図など）

- (1) 地域探検(散歩)や地域行事の体験を通して



【地域の牛小屋に散歩】



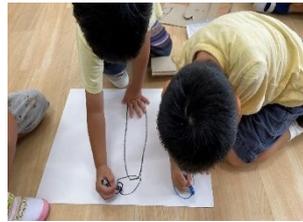
【地域の図書館へお散歩】



【近くのスーパーへ秋探しの散歩】



【イメージを共有する】



【イメージを絵で表現する】



【作ってみる】



【イメージを形にする】



【作ったものを使って表現を楽しむ】

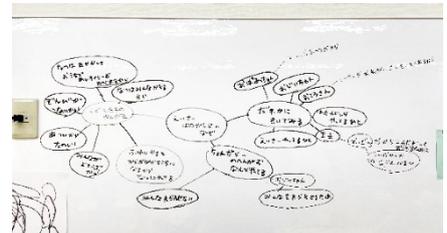


夏にエイサーをやる理由について「誰か知ってる人いるかな?」と保育教諭が投げかけると園児が「俺の父さんだったらわかるはず」と手を挙げ、周りの園児も「お父さんに聞いてみる」「〇〇のおじいちゃんだったらわかりそう」「俺もエイサーやってる人たちに聞いてみようかな?」と家庭や地域の方に聞いてみるようになった。

保育教諭の意図的な言葉かけや援助の工夫で探究心が高まった



ウェビングマップを通して、友達と気軽に言葉を交わすことができる雰囲気の中で、エイサーについて自分が聞いてきたことや調べたことを言葉で伝えることができるようにした。



(2) 地域(南城市内)人材を活用した保育活動



【6月】

「へいわってなあに?」と題して平和についてゆうな会の方に紙芝居を読み聞かせしてもらった。子ども達の平和についての感想も掲示して思いを共有。



【12月】

地域や園児の祖母にムーチーの由来の紙芝居を読み聞かせしてもらい、更にムーチー作りも体験することで関心を深めることができた。

【1月】 新年の集いに地域人材をいかし、獅子舞や琉球舞踊、空手を披露する機会を設ける予定

【日常】地域のボランティアの方が自分の都合のいい時間に園へ来園し、園庭の環境整備をしながら園児との触れ合いや会話を楽しんでいる。その中でコマ回しやけん玉など伝承遊びを一緒に楽しむ機会がある。

- (3) クラスだよりや保育ドキュメンテーションを作成し、保育活動の情報発信の工夫を図る
友だちと一緒にドキュメンテーションを見合いながら会話を楽しんだり、遊びの振り返りをしたりしながら他の遊びの情報を知るきっかけとなり、遊びが発展していく。
また、玄関前に掲示することで保護者が閲覧できるように環境を工夫し、保育活動の様子を知ったり、ドキュメンテーションの記事を通して地域の行事にも関心を持つことに繋がる。



【秋の散歩に行った時の写真にコメントを書き加えていく】



【保護者向けの保育ドキュメンテーション】



【クラスだよりで保育の様子を発信】

4 成果

- (1) 地域探検(散歩)や地域行事の体験を通して

- ・保育活動の一環で地域へお散歩に出かけることで、地域を知る機会となり「もっと探検してみたい」と関心を高める機会につながった。また、意図的に地域の伝統行事や文化に関心が持てるよう保育教諭の言葉かけや援助の工夫で興味関心を引き出すことにつながった。
- ・豊年祭などの地域行事を体験することで、子ども達とイメージを共有し、表現に必要なものを形にしたり踊りなどで表現したりして、伝統・文化・芸能の良さや表現する楽しさを味わうことができた。

- (2) 地域(南城市内)人材を活用した保育活動を通して

- ・地域の人材を活用することで地域の伝統や文化、歴史を園児向けに分かりやすく伝えてもらった。その結果、園児なりに地域の良さを知るきっかけとなり、地域の良さを感じ取りながら伝統、文化、芸能に関心を深める機会となった。

- (3) 保育ドキュメンテーションを作成し、保育活動の情報発信の工夫を図った結果

- ・保育教諭自身は、幼児の育ちを確認し、見通しを持った保育の展開ができた。
- ・園児にとっては、遊びの振り返りになったり、「こんな遊びがあるんだね。」と友達の遊びに刺激をもらったりして遊びの発展につながった。
- ・保護者にとっては、玄関先の掲示板やモニターのスライドショーまたは ICT(コドモン)を活用して保育ドキュメンテーションや保育活動の様子を発信することにより、保護者がいつでも閲覧でき幼児教育の理解に繋がっている。

5 課題

今年度の保育実践内容を振り返り、職員自身ももっと地域に関心をもって関わり、地域の伝統・文化・芸能の良さを学ぶことで子ども達との共感も広がっていくと考えている。そこで互いに大里校区だけでなく南城市全体の地域の良さについて情報共有を図り、人材活用を活かした保育の改善、工夫を図っていきたい。